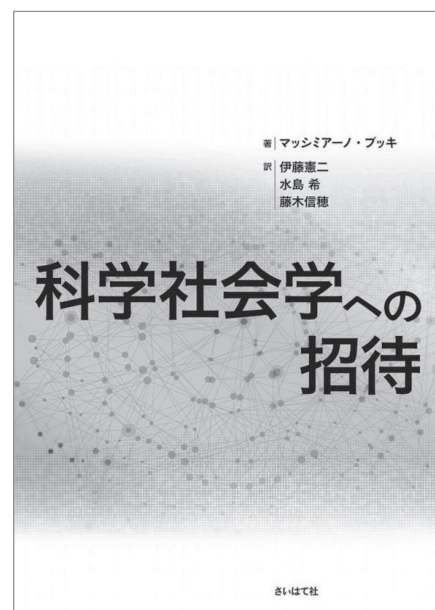


科学社会学への招待

マッシミアノ・ブッキ 著

伊藤憲二・水島 希・藤木信穂 訳／北尾 崇 装幀

科学計量学、ロバート・マートンの科学社会学、トマス・クーンのパラダイム論、デビッド・ブルアらの科学知の社会学、ブルーノ・ラトゥールらのアクター・ネットワーク理論、技術の社会構築論など、科学の社会科学研究の理論的な基礎となるものについて概観し、ソーカル事件と「サイエンス・ウォーズ」、科学コミュニケーション、人ゲノムプロジェクトなど、いくつかの具体的な議論を紹介する。科学と社会の間に発生する問題について考えたい人のための最良の入門書。



目次

日本語版への序文

イントロダクション

プロローグ

- 1 近代科学の発展と科学社会学の誕生
- 2 パラダイムと思考様式 — 科学と社会をつなぐもの
- 3 数学は社会的に形成されるか — 「ストロング・プログラム」
- 4 実験室の中を見てみよう
— ラボラトリー・スタディーズ入門
- 5 自転車とミサイルをばらばらにする — 技術の社会学

6 「サイエンス・ウォーズ」を超えて

7 科学を伝える — サイエンス・コミュニケーションを
科学社会学からとらえ直す

8 科学（と社会）2.0 にむけて

訳者あとがき

文献表

人名索引

著者プロフィール

マッシミアノ・ブッキ (Massimiano Bucchi)

イタリア・トレント大学教授。科学と社会の関係、とりわけ研究制度とメディア／公共圏の接点を主題に国際的に研究・発信してきた。国際誌 Public Understanding of Science 元編集長、PCST ネットワーク創設メンバーであり、科学文化の調査機関 Observa を共同創設し、世論・参加・政策の実証研究を牽引している。

訳者プロフィール

伊藤憲二 (いとう・けんじ)

京都大学大学院文学研究科・科学哲学科学史専修教授。専門は、近現代日本の科学史。著書『励起 — 仁科芳雄と日本の現代物理学』（みすず書房、2023）により日本科学史学会学術賞（第19回）を受賞。

水島 希 (みずしま・のぞみ)

叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部教授。専門は、科学技術社会論、フェミニスト STS、とくに市民科学、フェミニズムと科学。

藤木信穂 (ふじき・しほ)

シンメトリ（株）代表取締役。日刊工業新聞社の記者等を経て、2023 年に学術広報、科学技術・産業史エディターとして独立。

ご注文申込書	●取次店・書店名	●注文数	●発行 さいはて社 〒525-0067 滋賀県草津市新浜町 8-13 TEL: 050-3561-7453 FAX: 050-3588-7453 https://saihatesha.com
			マッシミアノ・ブッキ 著 伊藤憲二・水島 希・藤木信穂 訳／北尾 崇 装幀 科学社会学への招待 A5 判／並製／総 256 頁 定価 3,000 円＋税 ISBN 978-4-9912486-7-2 C1036 ¥3000E

●全国の書店でお求めになれます。書店様へ、ご注文は JRC まで(FAX: 03-3294-2177)